

公 安

本県警察組織は、県本部の下に警察署32，派出所105，駐在所の401の組織と2 135名の警察官によつて治安に當つている。

昭和33年の刑法犯罪発生状況をみると総数25 507件，そのうち兇悪犯罪とみられる殺人，放火，強盗が446件に上つている。全国比較すると総件数で第18位，兇悪犯罪にいたつては第9位となつている。

地域別にみると犯罪は人口密度の高い都市に多く発生しており，千葉警察署管内は4 034件で発生率（人口に対する）が最も高い。

司法関係では昭和31年に県下家庭裁判所に受理された事件数家事審判10 551件，家事調停1 346件である。一方，県下裁判所において処理されたものは刑事事件被告人員で38 226人民事訴訟10 854件でいづれも前年より増加している。

次に交通事故件数では車の増加にともない事故件数も年々増加し33年では3 961件に上り，県内1日108件の交通事故を出している。

原因別にみると操縦者の行為によるものが61%を占め特に除行違反，追越不適當によるものが目立つて多い。

消防では県下に消防署を設置する市町村は12市である。また消防団組織は34年4月現在で団数102，団員7万1千名である。消防機械は消防自動車518台，その他ポンプ2 337台を配備してある。33年中には611件の火災があり，罹災世帯296，損害額は3億円に上つた。